

日本共産党各議員の 一般質問予定

上野公悦議員 (15番目 9月22日(水) 午前の見込み)

- 新型コロナウイルス感染症の爆発的拡大下における暮らしと経済を守るための対策について
 - 財政調整基金(財調)の役割をどう考えるか。特に非常事態時の活用についてどう位置付けているか。
 - 今こそ財調の思い切った活用と各種剰余金活用で、暮らしと経済を守る最大の手当てをすべきではないか。コロナ禍で深刻な打撃を受けている小規模事業者への「持続給付金」や市民に対する「定額給付金」などの市独自の支援施策を強く求めるがどうか。
 - 今年度の住宅リフォーム促進事業について、以下の点を聞きたい。
- 前期分として7,500万円の事業予算が計上されたが、豪雪により多くの申請があり、3分の2の申請者が利用できなかった。申請状況、抽選状況はどうだったか。申請者からどんな声が上がっているか。市民の声に市ではどのように対応したか。
- 後期分はわずか2,500万円の事業予算である。前期分で落選した申請者も多かったことから、大幅な補正予算での対応などを行うべきではないか。
- 急速に進む人口減少やコロナ禍等によって上越市を走る2つの第三セクター鉄道が深刻な経営状況に追い込まれている。地域に不可欠な交通インフラをしっかりと守るために「えちごトキめき鉄道」と「北越急行」に公的支援が求められる。考えを聞きたい。

平良木哲也議員 (21番目 9月24日(金) 午前の見込み)

- 原子力災害での実効性ある避難体制構築について
 - 原子力災害での避難行動について、複合災害では「屋内退避を基本としつつも、被害状況に応じた避難行動をとる」とし、県の広域避難計画に関して「県の動向を注視する」としている。これを含めた市地域防災計画での避難体制について聞きたい。
- 上越市地域防災計画には、原子力災害事前対策を定めているが、どの程度進捗しているか。
- 被害状況に応じた避難行動とは、どのような行動を想定し、どのような準備を行っているか。
- 複合災害を想定した避難訓練はどう行われているか。

9月定例議会では、32人の議員中25人が一般質問(15~18日)に立ちます。日本共産党の3人の議員の質問内容は次の通りです。ぜひ、傍聴においでください。

- また、実効性をどう評価しているか。
- 原子力災害時の避難は屋内退避を基本としているが、複合災害時の屋内退避は危険性が高まるため即時に避難すべきである。どのように考えるか。
- 新型コロナの新局面と市の施策について
 - 市内におけるお盆後の感染者の発生状況と、感染経路等について、どのように分析しているか。
 - 市内における新型コロナウイルス感染症医療の実態はどのようになっているか。
 - 子どもの感染拡大には日常行動など子どもの特性に対応した感染防止策が必要だが、保育園、学校それぞれでどう捉え、どう対策しているか。
 - 世帯内の介護者や保護者が感染した場合に極めて困難な状況に置かれる在宅の被介護者や子どもへの支援はどのように行っていく考えか。
 - 自主的PCR検査等への費用補助制度は、長岡市等で取り組まれており、早期発見と保護の上で重要である。こうした制度を創設してはどうか。

橋爪法一議員 (23番目 9月24日(金) 午後の見込み)

- 災害対策について
 - 7月の災害対策特別委員会で「10月末までの『大雪災害対応の検証報告』を待たずに予算措置が必要なものもある」と指摘した。その検証結果を聞きたい。
 - 豪雪時の災害救助法適用について、対象となる除雪範囲の拡大、一世帯当たり上限額引き上げ、申請の簡素化を政府関係機関に働きかけるべきだと思うが、市長の見解を聞きたい。
 - 「昨冬のような大雪が今後もあり得る」という認識に立った時、対策強化をしていくポイントの一つは、除雪協力事業者の確保である。どこまで進んだか。
- 公の施設について
 - 公共施設等総合管理計画では「長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行う」としているが、計画では「長寿命化」に力点を置くべきと考えるがどうか。
 - 公の施設の今後の運営では、市民が積極的に関わることが重要と考えるが、市長の見解を聞きたい。

上越保健所管内感染症発生状況

(9月10日現在)

PCR検査実施件数	19,775件(前週+3273)
管内陽性件数	318件(前週+30)
上越市内陽性件数	280件(前週+35)
陽性率	1.608%(前回1.745%)

佐渡汽船株への財政支援に付帯決議

文教経済
常任委員会

「議会によく説明を」など求める

- 9月議会には、小木直江津航路の存続への支援として、約12億円の財政支援を佐渡汽船株に行うことが提案されています。
- 8日の文教経済委員会では、提案に当たって、同社の経営改善計画やその取組状況などが示されていないことや、ジェットfoilは旅客輸送のみで利用状況が極めて厳しく将来の効果が不透明であることなど、様々な点が指摘されました。
- 議案そのものは可決されましたが、出された疑義を内容とする付帯決議も採択されました。
- 市長提案に対して鶴呑みにせず意思を表明した点で、議会活動の前進と言えます。
- 決議のポイントは次の通りです。
- 経営状況をよく精査し、議会への説明を行った上で予算執行すること。
- 経営改善計画や取組状況、支援の根拠と必要性を引き続き議会に説明すること。
- 航路維持では、早期のカーフェリー導入など船舶変更時の条件遵守に取り組むこと。
- 市としても、航路利用促進や直江津港周辺活性化に一層取り組むこと。

党としては「自主投票」で 市長選挙への日本共産党の対応

日本共産党上越地区委員会は14日、今回の市長選挙への対応として、次の見解を発表しました。なお、各立候補予定者への質問と回答は、議員団HPをご覧ください。

私たちは、上越市政に関して特に重要であると考えられる5つの点について、立候補予定者のみなさんに質問を投げかけ、見解を頂きました。

お寄せいただいたそれぞれの回答について、私たちの政策に照らしながら一致点、相違点等を分析した結果、全体としては、私たちの掲げた政策とは、お二人とも一定の距離があることが判明いたしました。

私たちは、今回の質問と回答の如何によっては、どなたかにしぼって当選に向けた自主的支援を行うことを考えておりましたが、残念ながら現時点ではお二人ともそうした支援の対象として考えることはできないという結論に至りました。

したがって、今回の市長選においては、

日本共産党上越地区委員会としては「自主投票」とすることといたします。日本共産党に期待を寄せてくださっている多くの市民のみなさんには、明確な方向を出すことができないことをお詫びするとともに、それぞれのご判断に基づいて投票されることをお願い申し上げます。

なお、日本共産党としては、すでに市政全般にわたる政策を提示し、その実現に向けて全力をあげることを明らかにしています。

当面、その政策の実現に向けて、市議会議員補欠選挙での党候補の議席獲得をめざして奮闘する決意です。

質問と回答などを掲載した議員団のHPはこちら→

<https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>



日本共産党上越市議員団ニュース

No.723 2021年9月19日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

県が進める「地域医療構想実現に向けた今後の方向性」その問題点は、都合により今週は休みます。